九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

[029] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/25799

出版情報:九州大学東洋史論集. 29, 2001-04-30. 九州大学文学部東洋史研究会

バージョン: 権利関係:

新たなる世紀を迎え、

皆様には益々ご清栄のことと拝

.たします。『東洋史論集』二九号をお届けいたしま

昨年度は越智先生が久留米大学におられた折に執筆 た御論考とこれまでの先生の御著作に未収録の もの

明著 \mathcal{O} を収載した御著書を発刊することが出来ました(越智重 『中国古代の政治と社会』、 中国書店)。また、 先生

まもなく刊行されます。 芸能関係の御遺稿を集めた著作も同じく中国書店より 川勝先生は最近、 従来の市鎮の

研究を集められた大著を著され(『明清江南市鎮社会史

研究』、 た東アジアの国際関係を論じられた近作も発表されまし 汲古書院)、 また、 琉球や日本にも目配りをされ

くご検討下さい。

た(『日本近世と東アジア世界』、 吉川弘文館)。 今年は

ているところです。 先生のつくられた伝統をさらに高めるべく志を新たにし もう一冊の大著を発刊されるともうかがっております 研究室を託された我々も日野先生、 越智先生、 川勝

諸

- 号には冨田、 片山、 中島氏の論考を掲載しました。

> より川勝先生の後任として九州大学に赴任されました。 従来十分には論じられてこなかった論題について広 7 から網羅的に論じた骨太い論考です。 の論を集大成せんとする意欲作です。 片山 中 島氏 氏 は昨 の 論 年度

視

冨

Ш

[氏の論考は氏の年来のご研究である尚書体

制

·う

うべき意欲作です。 内 田 高両氏は現在大学院の博士後期課程に在学中の

本論集に掲載した論考は氏の新天地での第一

作目とも

乾隆朝以降にかけての展開を詳究した論考です。 のです。高氏の論考は一昨年の本論集に掲載した台運の 用して従来手薄であった科場案をめぐる問題を論 学生です。 内田氏の論考は近年翻訳がでた満文檔案を利 よろし じたも

る方がおられましたら、 後も発展させて行きたいと思っております。 彙報として掲載することにしました。 兄姉に本誌へ御論考などを掲載されたいとご希望され なお、本号から新し い試みとして、 左記の本会まで電話、 こうした試 当会の また、 活動 又はお手 4 状 を今 同学 况

にてお問 い合わせ下さい。

大 学 第二十九

号 集

平成十三年四月二十五日印刷

九

州

平成十三年四月三十日 発行 九州大学文学部

編集兼 発行者

東洋史研究会

電話(0九三)六四二十二三八0 福岡市東区箱崎 六一十九一一

印刷 代表者

城島印刷有限会社 川本芳昭

福岡市中央区白金

電話(0九二)五三一-七二0二

二一九一六